

イングランド銀行が政策ガイダンスを修正 インフレの持続を警戒し、5会合連続の利上げ

2022年6月17日

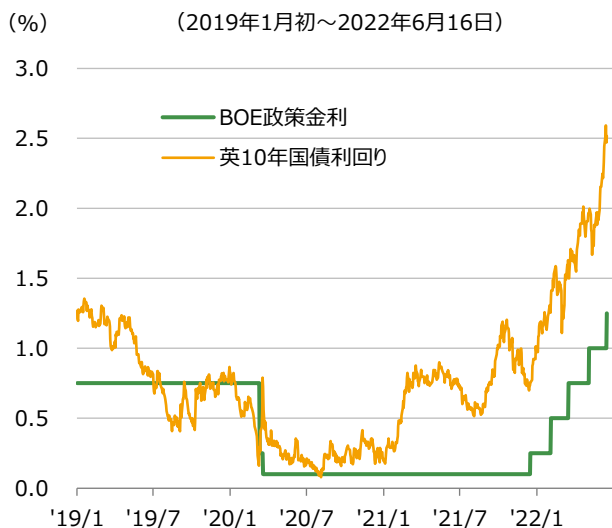
必ずしも力強く行動するわけではなく、金融政策は景気・物価動向に依存

イングランド銀行（BOE）は16日、政策金利を1%から1.25%へ引き上げました。0.25%ポイント利上げは6対3の賛成多数で、少数派は0.5%ポイント利上げを主張しました（5月会合と同じ）。コストと物価の上昇圧力が強いことと、物価上昇圧力が持続的になるリスクを考慮しての5会合連続の利上げです。

BOEは4-6月期の実質GDPが0.3%減と、5月時点予想より弱くなると見込んでいます。ただ、消費者信頼感の悪化が進む一方で企業景況感の悪化は抑えられ、労働需要や名目所得は堅調に推移しているとしました。過剰なインフレのすべてが供給制約など海外要因に起因するわけではなく、労働市場逼迫など国内要因にも起因すると指摘。サービス価格は財価格よりも国内コストの影響を受けやすく、ここ数カ月で上昇圧力が強まっているとしました。景気減速のなかでインフレ持続を警戒している様子が見えられます。

BOEは前回会合で「ほとんどの委員は今後数ヶ月の間にある程度の追加的な金融引き締めが依然として適切と判断」としていましたが、今回はこの文言を削除しました。そして、「政策金利の追加引き上げの規模、ペース、タイミングは、経済見通しとインフレ圧力に関する評価を反映」、「より持続的なインフレ圧力の兆候に特に注意を払い、必要なら力強く行動する」との文言を加えました。抽象的な表現で、明確なフォワードガイダンスを避けた印象です。16日の市場は「力強く行動する」を意識し英金利上昇・ポンド高に反応しましたが、今後は金融政策、市場とも景気や雇用、物価の動向に依存しそうです。

BOE政策金利と英長期金利



(出所) リフィニティブより大和アセット作成

英長期金利とポンド円



(出所) リフィニティブより大和アセット作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント